2015/06/07

浦安ランナーズクラブ

2015野辺山ウルトラマラソン　参戦記（女性陣・五十音順）

－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－

１．あずささん

◆ちっちゃいおばちゃんの野辺山物語
私の野辺山チャレンジは、２年前に応援で現地を訪れ、“こりゃ人の走るとこじゃないな”なドＭコースを目の当たりにしたところからスタートしました。
のーてんきな私は「よーし、上等だぜ。２年後のカッキーさんデカフォレスト達成祝いに、自分も一緒にゴールするぞ」と心に誓ってしまったのでした。
そこで、ウルトラの母、郡みゆきちゃんに前哨戦としてチャンレンジするキツめのウルトラを相談。まずは台風の丹後ウルトラを完走し、もう一本いっとくかな、とウルトラカップルのレジェンド郡夫妻といっしょに浜名湖１００ｋｍに参戦。このときは、直前の自転車の落車で肋骨がいっちゃってた上に２km地点で転んでヒザがパックリいったんですが、野辺山の練習としてどうしても完走しておきたかったので止めずに走りきりました。おかげでその後肋骨がひどいことになり、さらに膝には見事な「バッテン印」に傷が残り参りました。（笑）
でも、今回、こんなに大勢といっしょにゴールを目指し、たくさんの仲間に応援にきてもらって、無事、カッキーさんのデカフォレストゴールにもジョインできて、本当に本当に幸せです。５年前には３ｋｍ走ってひーひーいってたちっちゃいおばちゃんが、こんなところで多くのステキな仲間と１００ｋｍのゴールが切れるなんて、暇つぶしで走り始めて本当に良かったです。みなさんに心から感謝、感謝。浦安ランナーズ、最高〜！そして、カッキーさん、本当におめでとうございます。
私にとって、１００ｋｍマラソンはこれで６回目。運よく連勝中であります。ちっちゃいおばちゃん、次も「ほっかむり」の案山子スタイルで爆走しますよ！わっしょーい！

２．郁さん

野辺山100km、大自然の中、多様なコースを攻略しながら進む。長い道程、いろんな困難や痛みがやって来る。終盤は気力で走っているような感じ。でも、ゴールした瞬間にそれらが最高の達成感と喜びに変わる。野辺山は格別、だからヤメられない。来年は5回目。デカフォレスト達成の野望はないけど、何歳まで頑張れるか自分にチャレンジし続けたい。

３．小久保っち

野辺山を経験された方々から多くのアドバイスを頂きましてありがとうございました。
その通り！とても厳しく 大自然の素晴らしいコースでした。
スタートしてから10Km進むと15Kmも続く砂利道。すでに心折れてました（笑）その後も 次々と目の前には厳しいコースが…。何度も弱気になりながらも 応援隊の皆様からパワーを頂き 完走する事ができました。
カッキーさんのデカフェレストはもちろん、初ウルトラがこの厳しい野辺山という方々も 最後まで諦めずゴールをする姿には とても感動しました。
私も 2年前にウルトラを関門アウトでリタイアして以来のチャレンジで 今回の完走はとても嬉しかったです。 再びウルトラの楽しさを感じ またチャレンジしたいという気持ちが湧いてきました。
応援隊の皆様の強く暖かいサポート チャレンジャーの皆様の頑張る姿に接し 改めて浦安ランナーズクラブの一員である事を嬉しく思いました。
また どなたかのデカフェレストにご一緒させて頂ける日を楽しみにしています。

４．さわさん

野辺山は4回目の挑戦でした。1回完走、2回リタイアしていたので、今回完走して2勝2敗にするつもりでしたが、その夢はかないませんでした。92kmでリタイアしましたが、一緒に走ってくれた仲間、応援団の皆様のお陰で走る事ができました。本当に感謝しています。途中何回も声を掛け合い、かけて頂き、応援団の優しい言葉に励まされ、また厳しい言葉を頂き自分を見つめ、プリンやコーラ、エアーサロンパスの有り難みを感じ、素晴らしい自然に囲まれての14時間を過ごす事ができ、この思い出は私の一生の宝物です。そして何と言っても、カッキー会長のデカフォレスト達成の瞬間に立ち会えた事がとても嬉しいです。おめでとうございました。

５．佐伯美和子さん

◆野辺山参戦記
１００kmなんてとても走れない！って思って参加した「野辺山１００kmウルトラマラソン」
ゴール出来た時は本当に嬉しかった！涙が込み上げて来ました！！
そして気づけば感動のあまり、とにかく手当たり次第いろんな方と握手していました。
サボート&応援隊の皆様、本当にありがとうございました。
ほとんど最後尾を走っていた私たちを常に応援してくださり、絶妙なタイミングで手を差し伸べて頂いた事に本当に感謝しています。
そして、スタートからゴールまで一緒に走ってくれた夫に感謝です！

６．鈴木京子さん

今回初めて100キロマラソンに参加しました。
正直、浦安ランナーズ倶楽部に所属していなければ、野辺山ウルトラマラソンに、自分から挑戦しようとは、夢にも思わなかったでしょう。
一年前から倶楽部の皆さんに、多くのご指導頂き、大会当日も温かい応援、本当にありがとうございました。私が最初から出遅れて、心配をかけてしまい、ごめなさい。カッキーさんのお祝い出来なかった事、申し訳ありませんでした。全て、私自身の力不足が招いた結果です。
真摯に受け止めます。
当日の実際の私は、結構楽しかったです。
①最初のトイレ待ち25分→のんびりおしゃべりタイム
②最初の石ころゴロゴロ山道→八ヶ岳の自然を満喫《鳥の声、高山植物、苔に覆われた森林、山中からの眺め》あの場所まで行かないと、体験出来なかった、素敵でした。
③知らない方から声かけて貰って、おしゃべりが弾み、時間を忘れてしまいました。
④エイドで、バナナ、梅干し、お汁粉、葡萄、おにぎり、お蕎麦、美味しかった。倶楽部応援の皆さんからシュークリームにコーラ、助かりました。
⑤50キロ過ぎ会えないと思っていた、倶楽部の皆さんに出逢えた事。嬉しかったです
今年の挑戦は、あっと言う間に終わってしまいました。夢の如し
最後までわがままな自分は100キロ走り切りたいと言う思いが強く、人の迷惑顧みず、大会関係者の誘い《制限時間切れの為車に乗って下さい》を三回断り、運営関係者は、仕方なくゴール間際まで車のライトで道を照らして頂きました。
有り難かったのは97キロ過ぎから応援の松尾さんが私と一緒に走ってくれた事でした。
ゴール付近で相当待っていたでしょう。応援の皆さん、遅れてごめなさい。恥ずかしくて、申し訳なくて、30分の遅刻でした。
いろいろありましたが、私自身忘れられない記憶が残りました。
挑戦させて頂きありがとうございました。皆さんの温かい応援嬉しかったです。
来年また野辺山ウルトラマラソンに再挑戦して、
多くの方々と喜びを、分かち合いたい。
何より笑顔でゴールしたい
以上、鈴木からの報告でした。

７．まるぽさん

２回目の野辺山はウルトラマラソンを
[体感した～]という100kmでした。
35km過ぎにハムが攣りだし(><)
途中リアイアもよぎりましたが、
優しいランナーの方々、ランナーズの
暖かいサポート隊の皆様のおかげで、
ゴールラインまで行けました。
夜空に瞬く星を散りばめたような
綺麗なメダル、止めなくて本当に
良かった☆☆
一緒に参戦の皆様、応援隊の皆様、
ありがとうございました。
大勢で過ごした２日間は修学旅行みたいで、楽しかったです(^o^)

８．みゆきさん

『野辺山、完走出来ました！』

 今回で21回目のウルトラマラソン、しかも野辺山は2回目ということで、完走は心配ないと油断してしまったのか?!

30km付近の砂利道で転倒、右膝を激しく打った上に左胸で着地。。。

周りのランナーに強がり、なんとか歩き出したけど、足の痛みに加え、胸を打ったせいか浅い呼吸しか出来ず、思うようにペースがあがらない。

けれど途中で会うみんなや応援のみなさんからその度に力をもらってなんとかたどり着いた馬越峠。

それまでずーっと前方を淡々と行く暁さんにようやく追いつき、なんとか一緒に峠を越えて残り3時間弱。

また一人旅となって長い下り坂を駆け降り87kmのエイドに着いた時は残り2時間。

キロ8分で行けば間に合うと言われたが、頭ではわかってもからだが反応できず、結果、その時の私に一番厳しくなれるサポーター(コータローさん)が伴走者に。。。

叱咤9割誉め言葉1割の嵐はかなり辛かったので、とりあえずゴールまでは黙ってもらうことをお願いしたが、90km過ぎで佐伯夫婦に追い越された後は、なんとか置いていかれないようと励まされた。そこに前で応援してくれていた仲間から、ゴール前でみんなが待っているとの連絡が入ったのが96km過ぎ。

そこからの私は自分でも信じられないほどの力が出て、残り3km余り走り続けることが出来た。

制限時間4分前、ゴール前で待っていてくれたみんなと一緒に正真正銘の感動のゴール！

かっきぃのデカフォレスト達成も一緒に完走できたことで約束も果たせたし、記憶に残るレースとなったのはみーんなのおかげ。

 一緒に走ってくれたみんな、ありったけの思いやりを持った応援団のみなさん、本当にお世話になりました、そして本当にありがとう！

９．山キョンさん

9年ぶり２回目の野辺山でした。やっぱり厳しかったです。でも応援隊の皆さんのサポートや仲間と一緒に走れたので、最後まで諦めず、なんとかゴール出来ました。
こんな厳しい大会に10回も完走出来たカッキー会長は凄いです。デカフォレストの表彰の時は感動しました。一緒に参加する事が出来て、ありがとうございました。

１０．よっしー

◆野辺山参戦記

今回の野辺山は、最初で最後のウルトラマラソン挑戦と考えて参加しました。
そのためには、絶対に完走して卒業したいという気持ちでのぞみました。
さて、当日を迎えた私はスタート前にトイレで転び、右中指をザクリと切り、出血&脂肪が出てくるトラブルにみまわれました。
あわや棄権かと思いましたが、医務室のドクターは「本当はやめたほうが良いけど、、。縫わないといけない傷だから、早めに絶対病院に行ってね。血が出て気持ち悪かったら42kmと79kmで救護室に寄ってね。」とドクターストップすれすれ？のお言葉を頂きました。
なんだかそれでかえって腹が据わり、「救護室にたどり着くのにフルを走らなければならない…ということは走っても大したことないやん！」と理解したのです。
あとは、とにかくマイペースに走るのみ！
大自然の中のアップダウンの中、「これ走るのウソやろ〜？」と何度思ったことか…。
途中から応援団の車をF1のピットポジションにみたて、応援団に会うためだけに走っていました。
応援団の皆様、本当にありがとうございました！
そしてゴール手前までなんとかたどり着き、浦安ランナーズのみんなに会ったときは、ホッとしたのか何なのか、涙が溢れてきました。(はっずー、うっざー。ですね。)

本当に、今回はみなさんに完走させていただいたのであり、私一人の力ではまず無理でした。
一生の思い出になりました。
本当にありがとうございました。

以上